緑の園 12月号

ヒルトップハイツ
グリーンプラザ
デイサービスセンター
だより

第９０号
令和５年１２月１日発行

90125/YES(1983)

今年も一年ありがとうございました。

今年令和５年は社会福祉法人丸瀬布社会福祉協会にとりまして、特別養護老人ホーム丸瀬布ヒルトップハイツおよび丸瀬布デイサービスセンターの改築移転という一大事業を無事完了できた一年でありました。

現在もなお、旧ヒルトップハイツ等の解体工事は続いておりますが、この９月に、ご利用者様の引っ越しも無事完了し新しい施設での生活が始まりました。

これもひとえにご利用者様はもちろんのこと、ご家族の皆様、関係各位のご協力とご尽力の賜物と法人役職員一同心から感謝いたしております。

この度の改築移転工事は遠軽町の第８期介護保険計画として、令和２年度から着手して丸瀬布厚生クリニックの空病床を活用するという全国でも例を見ない事業であり、何より日々の診療を行った中での改築工事となったことから北海道厚生連様からのご理解とご協力があり実現に至りました。

近年は新型コロナウイルスの流行、物価高そして電気代の高騰により多くの社会福祉法人において利益率が低下し赤字経営を余儀なくされている法人の割合が増えています。

当法人といたしましても厳しい施設運営環境の中、地域の方々から慕われ、必要とされるような施設づくりに役職員一同邁進していく所存でありますので今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

新型コロナウイルス感染者発生の報告

養護老人ホーム緑の園におきまして１０月２４日にご利用者様お二人に加え職員一人が新型コロナウイルスに感染していることが確認されました。

その後、１０月３１日までの一週間にご利用者様５名、職員５名の感染が確認されました。

１１月１日以降、新たな感染者はなく紋別保健所にも確認したうえで１１月１０日に終息したと判断いたしました。

感染が確認された１０月２４日から終息した１１月１０日までの約３週間の感染者数はご利用者様７名と職員６名の合計１３名でした。

今回の感染では幸いにして重篤化された方は一人もお

られませんでした。

症状に関しても一時的な熱発はありましたが、２～３日程度で下がり発症してから回復までの日数が短かったことが何よりありがたかったです。

感染した職員につきしても数日で職場復帰を果たしております。

今回の感染につきましてはご利用者様はもとより、ご家族様関係各位に多大なるご心配とご迷惑をおかけいたしましたことを心からお詫び申し上げます。

なお、階下グリーンプラザのご利用者様への感染はありませんでした。

今後このようなことがないよう感染対策を継続・徹底しご利用者様にとって安心・安全な施設生活を送れますよう職員一同取り組んでまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

養護老人ホーム　緑の園

施設長　　小　原　　穣

１２月の行事予定です。

１２月は「師走」とも呼ばれます。

この月は僧が、東西に「はせはしる」から「師走月(しはつ)」、１２月は年の終わりで万事「仕果つ月」、「年果つる月」から転じて「しわす」など、いろいろな説がある。とのことですが…。

１２月の予定ですがデイサービスセンターにおきましては１９日(火)から２１日(木)までの３日間、クリスマス会を開催する予定です。

ヒルトップハイツにおきましても１３日(水)にクリスマス会を予定しております。

なお、緑の園とグリーンプラザにおきましては２０日に同じくクリスマス会を開催予定ですが緑の園/グリンプラザともあっと驚く余興を予定しております。

法人全部の施設でクリスマス会を予定している今月ですが、今年一年の感謝を込めて一所懸命に「クリスマス会」に取り組みますので皆さん楽しみにしていてください。

クリスマス会が終わるといよいよ新しい年を迎える準備に移ります。

今年は丸瀬布社会福祉協会にとって新しい施設の改築移転といった一大イベントがありました。

新しい年が当法人にとって飛躍の年となるような一年となるよう気分を新たに取り組んでまいりますので何卒よろしくお願いいたします。

今月もどうぞよろしくお願いいたします。

今月の２２日(金)は**冬至**です。

ご存じのとおり一年で最も昼間の時間が短い日のことですが、**冬至**のおはなしではなくて**夏至**の日のお年寄りとのやり取りです。

わたしが、気持ちよさそうにうたたねをしている入園者のAさんに「Aさんおはようございます。気持ちよさそうですねぇ」と声を掛けたら「(夏至で)夜が短いから寝る時間が短くて、眠たいんだ…。」とのことでした。

なので、夜が長い**冬至**の日によく眠れるかどうかAさんに聞こうとしたんですが聞けずじまいでした。

今でも時々**冬至**のころになるとAさんはなんて答えたかな?とその時の光景を思い出す時があります。

お年寄りとの会話のやり取りでは想定外の、それでいて機知にとんだ返答が返ってくることがあります。

何気ない会話の中からこそ、その人となりを感じることができると思います。今年も一年ありがとうございました、新しい年もどうぞよろしくお願いします。(おばら)